

令和7年第8回鋸南町教育委員会定例会議事録

1. 日 時 令和7年7月17日（木）午後2時00分～午後4時15分
2. 場 所 鋸南町立中央公民館 2階会議室
3. 出席委員 教育長 富永安男 教育長職務代理者 山野正人
委 員 篠原恭恵 委 員 伊藤尚徳
4. 出席職員 教育課長 安田隆博 主任指導主事 助川孝浩
教育総務室長 小川幸子 生涯学習室長 山口東子
5. 開 会 富永教育長が開会を宣言
6. 議事録署名人の指名 富永教育長が山野委員を指名
7. 前回会議録の承認 令和7年6月19日開催の第7回定例会議事録について承認
8. 会議の傍聴者 傍聴者なし

9. 教育長の報告

教育長の報告を2点致します。お手元にお配りしました「どう過ごす 今年の夏休み！夏休みを制する！」という資料ですが、誰にでもやってくる夏休みですが、これは私は東北山形の出身ですけど、東北の3週間しかない短い夏休みについてであります。短い夏休みを過ごしたものの感想ですが、思い出たびに胸が切なくなりますね。そういう思い出がたくさんありました。大人になった今もそんなことを思っております。その後、私も千葉県の子供教員になりまして、やっぱり中学校教育に勤務した者としては、何ともしもいい夏休みにしろよ、っていうような話を毎年しておりましたし、また管理職になっても校長だよりの中で伝えておりました。

私は、中々満足はいく夏休みはなかったですね。後悔だらけですが、後悔は何かをやらうとするから後悔も残るわけです。そういう点では悔いはないというふうに思っています。

いずれにしても、非常に短い夏休みですから、鋸南中の生徒には、何としても、充実した夏休みを過ごしてもらいたいなと思っております。今日、田中校長先生の校長だより No. 12 を見ましたら、私は「教員は夏休みがあつてうらやましいな。」という人に対しては、「だから教員になったのですよ。」と答えます。

更に、気を使って「夏休みも学校に行つて仕事があるんですね。大変ですよ、先生は。」と言ってくれる人には、「授業がないから楽です。」と答えています。

随分思い切つた校長だなど思うのですが、素晴らしいなと思いますね。

要は、子供にとつても教員にとつても、心身共に、リフレッシュするには、夏休みは大事だと伝えるものと思ひまして、紹介をさせていただきました。

2点目ですが裏をちょっと見ていただきたい。

今盛んに言われております部活動の地域移行についての文章であります。

部活動の地域移行は今までやったことないことをやるわけですから、大変な問題です。

この度スポーツ庁および文化庁は、2026年 来年から31年度の6年間をかけて改革実行期間と位置付けまして、現在行つている休日だけではなくて、平日も順次地域に移行していくという考えをまとめました。

それに沿つて進んでいくわけですがけれども、考えてみると、目標を掲げて取り組む部活動に教育的価値があるというふうに見出されて、私どもはやってきたわけですが、特に非行が問題となつた1980年代、私は教員だつた年代は、生徒指導の面からも大変要望されました。

学習指導要領には全く位置づけられていない、教員のボランティアで75年間ずっとやってきたわけです。そういった中で、部活動はやり過ぎの面もありました。

また、教職員の働き方改革が叫ばれる中、教頭・副校長は特にもう過労死状態、中学校教員は過労死状態と言われるような中で、もう少し楽しさ優先の部活動がいいんじゃないか、言葉は悪いけどゆるい方向へと転換する時ではないかという意見が主だつて今日に至つているわけです。

ここから私の意見ですが、中学校教育を考えたときには、多感な中学生時代に必要なのは、勉強だけじゃない。

プラス、スポーツ。つまり部活動もそうですが、プラスやはり心の教育が大事だというふうに思つております。昔も今も、これからもそうだと思つております。それを考えますと、やはり学校部活動の教育的な意義は捨てがたいなというふうに思つております。

7月7日、今年度の第1回部活動地域移行会議があり、その席でも私の夢としてという話をしましたけど、7年後に鋸南中も全校生徒で60人の時代がきますが、陸上部だけは残したいと思っております。

陸上の走るというのは、ありとあらゆるスポーツの基本中の基本ですから、やって絶対に損はないと思いました。

一つであれば先生方も対応できるのではないかと。ただ指導員の確保であるとか、全体の受け皿の確保の問題は依然としてありますけど、鋸南町の場合は、やはり1にスポーツ少年団、2にスポーツ協会、3にスポーツ推進委員、4にスポーツクラブ。

こういった4団体にすぎるしかないのではないのかなというふうに思います。7年後、鋸南中の校長が誰なのかわかりませんが、その方との相談かと思えます。

いずれにしても、各都道府県だとか市町村によって足並みがそろいません。

例えば静岡県掛川市は令和8年度から全て中学校の部活動廃止です。全部地域移行する。

そうかと思うと熊本市のように、全ての部活動を継続するという判断をしています。形は変えると思います。

今まで通りの部活動ではないと思います。

いずれにしても、国県の動向を見ながら進んでいかなければならないと思いますので、ご協力の程、お願い致します。

以上2点、報告をさせていただきました。

10. 議 件

(1) 議決事項

- ① 議案第1号 令和7年度使用教科用図書採択について
 - ・非公開で行う旨の提案があり、全会一致で承認された。

11. 報告事項

(1) 行事の後援の承認について

- ・小川教育総務室長から、行事の後援承認は、前回の定例会以降4件あった旨、別紙説明資料により報告・説明がなされた。

(2) 各担当からの報告について

- ① 助川主任指導主事から、各学校の様子について・学校等行事、また、ALTの交代について、報告・説明がなされた。
- ② 山口生涯学習室長から、夏休み期間中の中央公民館、海洋センターの主催教室、菱

川師宣記念館特別展及びそれに係るイベントについて、報告・説明がなされた。

(質疑)

- ・篠原委員から、「BG塾は、とても素晴らしい企画だと思うが、参加人数、対応スタッフの人数は？」との質疑に対し、

山口生涯学習室長から「参加人数は高学年低学年とも19名です。抽選させて頂きました。スタッフは、日によって7人から10人です。」との答弁がなされた。

- ③ 小川教育総務室長から、給食センターの夏休みの期間中の、ボイラー配管工事及び調理器具フライヤーの取替工事について、報告・説明がなされた。
- ④ 安田教育課長から、今回は報告事項がないとの報告がなされた。

12. その他

- ① 篠原委員から、給食センター運営委員会に出席し、小安栄養教諭を中心に皆さんが一生懸命に、安全・安心な給食作りをやっていることがわかり、感心した。

委員会の中で、保護者の方から、無償で給食を提供してもらって、助かっているが、町の財政負担になるのではないか、という質問があり、安田教育課長から説明がありました。」との意見に対し、

安田教育課長から、「不足分は町が負担しています。町の姿勢として、給食費を全て無償化する、できる限りそれを続けていきます、というお話しを致しました。」との説明がなされた。

- ② 山野委員から、小学校・中学生、高校生も含め、通学・通勤の途中で、横断歩道の渡り方で、車が止まってくれた時に、私個人は、すいませんというように頭を下げます。

町内で、横断歩道でボランティアの方が立っていて渡してくれるが、そこを小学生2人ぐらひは何もせず普通に歩いて渡り、高校生はスマホを見ながら渡っている。

ありがたいという気持ちを表すことによって、ドライバーは止まってくれる気持ちになると思う。本来、親が家庭で教える話だが、なかなかできていないので、学校でも、考えようねということをしていただけたらと思う。」との意見があった。

- ③ 篠原委員から、「鋸南中の2年生の町の農業調べの授業に対し、ふるさと学習の一つとして、教育が展開されていることに、すごく感心した。担任の先生は、鋸南愛がある先生だと思う。

また、地域おこし協力隊で、廃棄せざるを得ない花を使い、キャンプ用のろうそくを作

ったが、素晴らしい出来栄えだった。放課後子ども教室等を通じ子どもたちに色々感じさせることができると感じた。」との意見があった。

- ④ 小川教育総務室長から、今後の行事日程について、別紙資料により報告・説明がなされた。
- ⑤ 教育長から、10月の定例会の日程について協議があり、10月16日中央公民館で開催することに決定した。

13. 閉 会 富永教育長が閉会を宣言

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

令和7年8月21日

教育長	富永 安男
教育委員	山野 正人
事務局	小川 幸子